令 和 ４ 年 度

事　　業　　報　　告

（自 ： 令 和 ４ 年 ４ 月 １ 日
至 ： 令 和 ５ 年 ３ 月 ３ １ 日）

公益財団法人つくば文化振興財団

目　　次

令和４年度事業状況報告書

１．会務
（１）評議員会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
（２）理事会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
（３）組織及び人員　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２

２．令和４年度事業概要
（１）文化芸術振興事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
１）つくば国際音楽祭事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
２）つくば市文化芸術振興事業（公演鑑賞型）　・・・・・・・・・・・　３
３）つくば市文化芸術振興事業（市民参加・体験型）　・・・・・・・　９
４）つくば市文化芸術振興事業（美術事業）　・・・・・・・・・・・・　12
５）文化芸術活動支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　14
６）後援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　16
７）広報活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　17
（２）指定管理事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　18
１）指定管理の受託　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　18
２）ノバホールの指定管理　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　19
３）つくばカピオの指定管理　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　24
（３）地域連携　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　30

１．会務

（１）評議員会

〈１〉　文書による決議（R4.6.7）

①　原辰幸氏の評議員選任について承認

〈２〉　第 9 回評議員会（R4.6.22）

①　令和 3 年度事業報告について承認

②　令和 3 年度収支決算報告について承認

③　大久保克己氏の理事選任について承認

（２）理事会

〈１〉　第 29 回理事会（R4.6.1）

①　令和 3 年度事業報告について承認

②　令和 3 年度収支決算報告について承認

③　定時評議員会の招集について承認

④　代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告

〈２〉　第 30 回理事会（R4.10.25）

①　令和 4 年度事業計画の一部変更について承認

②　令和 4 年度補正予算について承認

③　代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告

〈３〉　文書による決議（R4.11.30）

①　令和 5 年度事業計画について承認

②　令和 5 年度収支予算について承認

③　令和 5 年度資産運用計画について承認

④　公益法人の変更認定申請について承認

〈４〉　文書による決議（R5.1.27）

①　債務負担行為について承認

（３）組織及び人員

公益財団法人つくば文化振興財団の組織体制は、総務課、企画課、管理課の 3 課制をとっており、令和 4 年度末における役員及び職員等の数は次のとおりとなっている。

（単位：人）

役　　員		職　　員	
理事長（非常勤）	1	事務局次長	1
常務理事	1	総務課	1
理事（非常勤）	5	企画課	4
監事（非常勤）	1	管理課	5
		管理課（会計年度雇用職員）	5
計	8	計	16

２．令和４年度事業概要

（１）文化芸術振興事業

１）つくば国際音楽祭事業

新型コロナウイルス（以下「新型コロナ」）の感染が収束しない中、当初計画通り事業は実施しなかった。

２）つくば市文化芸術振興事業（公演鑑賞型）

令和 4 年度も新型コロナの影響を受けながらの事業実施となった。上半期は集客が伸び悩むものもあったが、下半期は感染者数の減少傾向とともに入場者の増加がみられ、追加 1 事業含み計画通りの事業数を行うことができた。

特に令和 2 年度から延期となった海外招へいの「キエフ・クラシック・バレエ」（共催事業）については、ウクライナへの関心の高さもあって、8 割を超える入場となり、また、多くのお客様から支援の寄附金をいただいて、同バレエ団に全額（349,499 円）手渡すことができた。

なお、この「公演鑑賞型事業」では、複数の助成金を公的機関から得ることで、コロナ感染の影響があった上半期事業の収入減を補填するとともに、複数の追加事業を実施することができた。

※別紙 1「令和 4 年度　つくば市文化芸術振興事業一覧」（ｐ31、32）参照

【公演内容】

※入場率＝入場者数／有効座席数（有効座席数は各公演会場設営、コロナ対策等により変動）

１．月夜のファウスト

～串田和美が贈る小さくて壮大な物語～

6 月 9 日（木）　19：00 開演　ノバホール・小ホール

コロナ禍で演劇公演に制約がある中、演出家で俳優の串田和美の一人芝居を開催した。小ホールという狭い空間にあって、観客との緊密な関係にこだわりながら、自由な発想で串田自身のファウスト像を演じきった。氏の幼少期の記憶等、予測不能な展開に翻弄されながらも、観客は最後まで舞台から目が離せなかった。

全席自由　一般 2,000 円

入場者（82 人）　入場率（97%）

２．林家たい平 落語会

6 月 19 日(日)　14：00 開演　市民ホールとよさと

当初予定の令和元年から３年越しの落語会を開催。三遊亭ごはんつぶ、林家けい木（落語）、林家あずみ（津軽三味線）の出演後、トリに林家たい平が「禁酒番屋」を口演。レギュラーTV 番組ではみられない古典落語の妙味を、観客全員で堪能した。

全席指定 一般 3,000 円　メンバーズ 2,800 円
入場者(294 人)　入場率(43%)

３．古澤巖の品川カルテット

7 月 6 日(水)　昼の部 15：00 開演　夜の部 19：00 開演
ノバホール

昨年に引き続き 2 度目となる共催公演。メンデルスゾーンをはじめ、現代イタリアの作曲家の作品、さらにはジャズ、ミュージカルのスタンダード曲を披露する。

幅広いレパートリーと抑制のきいたアレンジ、新たな解釈に、弦楽四重奏の新境地を垣間見ることができた。本番前には無料のフリーコンサートを行い、親子連れ等気軽に演奏を楽しんだ。

共催：ＩＦＯ
全席指定　一般 5,500 円　メンバーズ 5,300 円
入場者(昼 247 人、夜 164 人、フリー72 人)　入場率(70%)

４．神津善行のタンゴの世界
～華麗なるアルゼンチン・タンゴ～

7 月 21 日(木)　14：00 開演　ノバホール

アルゼンチンで生まれた“タンゴ”。それがヨーロッパに渡り、花咲いた“コンチネンタル・タンゴ”。演奏楽器やコード進行が微妙に違う両者を神津氏が解説し、生演奏で聴き比べる。鮮やかなダンスが会場に華を添え、往年の名曲の数々にタンゴファンは酔いしれた。

全席指定　一般 3,500 円　メンバーズ 3,300 円
入場者(400 人)　入場率(52%)

５．ナプア・グレイグ with ハワイアン・フラ・ダンサーズ

7 月 31 日(日)　15：00 開演　ノバホール

マウイの歌姫ナプア・グレイグとダンサーたちによる南国情緒あふれるステージを披露。艶やかな歌声、華やかな衣装に身を包んだダンサーたちの本格ステージを、多くの市民が楽しんだ。つくばでもフラダンス愛好者は多く、サークル活動も盛んで、入場者の増加につながったと考える。

共催：インプレサリオ東京

全席指定　S 席 6,500 円　A 席 5,000 円

S 席メンバーズ 6,000 円　A 席メンバーズ 4,500 円

入場者(766 人)　入場率(82%)

６．桂宮治 独演会

9 月 7 日(水)　14：00 開演　ノバホール

昨年、人気 TV 番組「笑点」でレギュラーに抜擢され、注目を浴びる噺家の独演会。真打になってから初めてのつくば公演で、3 席を熱演。最後は人情噺の大ネタ「子別れ」を演じ、観客の涙を誘った。

共催：茨城放送／桐生音協

全席指定　一般 3,000 円　メンバーズ 2,700 円

入場者(447 人)　入場率(46%)

７．キエフ・クラシック・バレエ「白鳥の湖　―全 2 幕―」

9 月 17 日(土)　昼公演 13：00 開演　夕公演 16：30 開演　ノバホール

令和 2 年度に予定しながらも延期となっていた、キエフ・クラシック・バレエ「白鳥の湖」公演。本格的なクラシックバレエを親子で気軽に、しかも低料金で鑑賞いただけることから、過去にも好評を博している。戦禍のなか練習に励むバレエ団の熱演は、多くの観客の心を揺さぶった。

共催：インプレサリオ東京

全席指定　一般 4,500 円　メンバーズ 4,200 円

入場者(昼 837 人、夜 780 人)　入場率(84%)

８．和楽器演奏集団 独楽結成 20 周年記念公演 ～みちなかば～

9 月 30 日(金)　18：30 開演　つくばカピオホール

和楽器をこよなく愛する者が集まって結成された「和楽器演奏集団 独楽（こま）」。海外進出も果たすなか、結成 20 周年記念公演をカピオホールで開催した。

和太鼓、津軽三味線をはじめとする伝統楽器の魅力とともに、現代感覚あふれる、色彩豊かな表現を思う存分堪能できた。

共催：参／アオイスタジオ

全席指定　一般 3,000 円　メンバーズ 2,700 円

入場者(235 人)　入場率(64%)

９．硬派弦楽アンサンブル 石田組

10 月 15 日(土)　14：00 開演　ノバホール

ヴァイオリンの石田泰尚（神奈川フィル 首席ソロ・コンサートマスター）が率いる男だけの精鋭アンサンブル「石田組」。正統派クラシックからロックまで、従来の型にとらわれないプログラムで会場を圧倒した。レッド・ツェッペリンの名曲が弦楽アンサンブルで蘇るなど、自由奔放な編曲がひときわ印象に残った。

共催：キョードーファクトリー

全席指定　一般 5,000 円　メンバーズ 4,500 円　学生 2,000 円

入場者(606 人)　入場率(61%)

10．世良公則 アコースティックソロライブ ～迷る～

10 月 22 日(土)　16：00 開演　ノバホール

デビュー45 周年にしてさらに進化を続ける世良公則。彼のアコースティックソロライブを実施した。

ツイスト時代から最近作まで、ギターの弾き語りによるステージは、彼の見事なテクニックは言うまでもなく、ヴァイタリティ溢れるパフォーマンスに、会場は大いに沸いた。

共催：ティー・エム・エッヂ／オフセンター

全席指定　一般 6,500 円　メンバーズ 6,000 円

入場者(510 人)　入場率(55%)

11. chanson 特集 シャンソン

11 月 27 日(日)　14：00 開演　ノバホール

作曲家・神津善行プロデュースの第 2 弾。氏の申し出により共催公演として実現したもので、7 月の「タンゴ」に続いてテーマは「シャンソン」とした。

近年、シャンソンを聴く機会が少なくなっただけに、来場者からは喜びの声が多数聞かれた。菅原洋一も友情出演で熱唱した。

共催：三栄企画

全席指定　一般 3,500 円　メンバーズ 3,300 円

入場者(366 人)　入場率(53%)

12. イルカ＆太田裕美 ラブリー♡コンサート

12 月 3 日(土)　17：30 開演　ノバホール

昭和 50 年初頭、日本のフォーク＆ニュー・ミュージックシーンを彩ったイルカと太田裕美の共催公演を開催した。

会場は、同時代に青春をおくった 50 代、60 代の観客が多くみられ、新型コロナ発生以降、初めての完売（取扱枚数終了）となった。懐かしさと新鮮さが入り混じったステージは、多くの観客で熱気にあふれかえった。

共催：茨城放送／桐生音協

全席指定　一般 6,800 円　メンバーズ 6,500 円

入場者(873 人)　入場率(93%)

13. 新日本フィルハーモニー交響楽団 ニューイヤーコンサート 2023 ～映画音楽とともに～

1 月 6 日(金)　18：30 開演　ノバホール

ノバホール初の新日フィル演奏会。指揮に角田鋼亮を迎え、J.シュトラウスをはじめ、「スターウォーズ」「となりのトトロ」などの映画音楽と、親しみある内容で新年を飾った。ラストは「ラデツキー行進曲」で締めくくり、聴衆も大きな手拍子で、新年の初ライブを大いに楽しんだ。

共催：新日本フィルハーモニー交響楽団/日本オーケストラ連盟

全席指定　S 席 5,000 円　A 席 4,000 円　学生 2,000 円

メンバーズ S 席 4,800 円　A 席 3,800 円

入場者(955 人)　入場率(96%)

14. マリコとオペラ！

～林真理子のトーク・コンサート～

1月29日(日)　14：00開演　ノバホール

オペラ愛好家で、オペラの台本も手がける直木賞作家、林真理子が贈るトーク＆コンサート。彼女が選んだ珠玉のアリアを、人気、実力共に誇る小林沙羅（ソプラノ）と望月哲也（テノール）が、トークを挟んで熱唱した。

作家ならではの視点で語るオペラの醍醐味、さらにはプッチーニのアリア等々、観客はオペラの魅力を十二分に味わうことができた。

全席指定　一般5,000円　メンバーズ4,800円
小学生～高校生　無料
入場者(702人)　入場率(89%)

15. 劇団かかし座「ふしぎの国のアリス」

2月25日(土)　14：00開演
つくばカピオホール

テレビ等への出演も多く、海外での評価も高い手影絵劇団「かかし座」が描く、おとぎの世界。ウサギに導かれ穴に飛び込んだアリスは、大きくなったり小さくなったり。影絵の特性を生かした不思議な舞台に、親子共々夢中になった。

全席指定　一般2,000円　子ども1,000円
入場者(363人)　入場率(97%)

16. 映画「祈り」～幻に長崎を想う刻～

3月19日(日)　13：00開演　市民ホールとよさと

映画「祈り」は、戦後の長崎・浦上天主堂のマリア像をめぐる信者たちを画いた作品で、追加事業として上映会を行った。監督は「天心」「ある町の高い煙突」など、茨城県内を舞台にした作品で知られる松村克弥。

上映後、監督と出演者によるトークショー、喜楽座によるコンサートも併せて実施した。

全席指定　一般1,000円
入場者(162人)　入場率(44%)

３）つくば市文化芸術振興事業（市民参加・体験型）

年末の恒例企画「つくばで第九」を、徹底した感染対策を実施しながら、“復活第九”として３年ぶりに開催した。また、プロの「ぱんだウインドオーケストラ」メンバーを講師に「中高生のための吹奏楽クリニック」を実施し、最終日に成果発表会を開催した。

【事業内容】

※入場率＝入場者数／有効座席数（有効座席数は各公演会場設営、コロナ対策等により変動）

１．小倉良の All that Music！

11 月 9 日（水）、1 月 13 日（金）、2 月 3 日（金）

各日 19：00 開演　つくばカピオホール

つくば市出身の作曲家・小倉良の企画・進行による音楽講座。6 年目となる今年度は、①演歌・フォークソング、②民謡、③3 人の女性歌手、がゲストの 3 回シリーズ。

ゲストの面々は期待を上回る実力派ぞろいで、音楽指向性の確かさや技術力の高さ、素晴らしさなど、アーティストとしての魅力に聴衆は認識を新たにした。

全席自由　パスポート（3 回通し）7,500 円

一般 3,000 円

入場者（延べ 386 人）　入場率（46%）

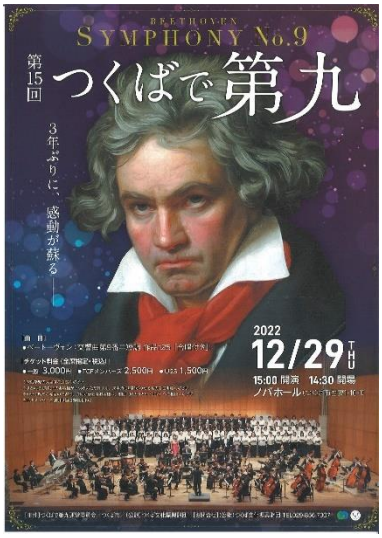
第１回	11 月 9 日（水）	松原健之（演歌）、工藤慎太郎（フォーク）
第２回	1 月 13 日（金）	朝倉さや（民謡）
第３回	2 月 3 日（金）	池田綾子（シンガー）、SINON（シンガー）、笹川美和（シンガー）

２．第 15 回つくばで第九

12 月 29 日（木）　15：00 開演　ノバホール

つくばセンター地区における年末の風物詩として定着している本事業は、3 年ぶり 15 回目の開催となった。

公募による市民合唱団は、感染対策を徹底した練習、本番時のマスク着用など感染状況を鑑み、様々な条件をクリアしながら、歓喜の歌を会場に響かせた。



全席指定　一般 3,000 円　メンバーズ 2,500 円　U25　1,500 円

入場者（793 人）　入場率（78%）

《つくばで第九合唱団》

3 年ぶりの開催を模索する中、声を出すこと、歌う喜びを再確認するため、7～8 月にかけて合唱体験企画「歌い場」（参加無料）を開催した。

この企画実施を契機に、つくばで第九合唱団に新規加入する方もみられ、円滑に 100 名定員の合唱団が編成された。9 月から交流センター等で練習を始め、20 回以上の練習を経て本番に臨んだ。

第 15 回つくばで第九 コンサート本番

参加費　一般 10,000 円　学生 5,000 円　歌い場は無料

合唱団参加者（89 人）　歌い場参加者（延べ 203 人）

歌い場 チラシ

練習風景

３.かかし座「ふしぎの国のアリス」 関連企画

かかし座 手影絵ワークショップ

1 月 17 日（火）

葛城小（5 年 1 組、2 組） 2 コマ

かかし座「ふしぎの国のアリス」公演に関連したアウトリーチ事業。

暗幕を引いた体育館で、まずは講師がスクリーンに手影絵を映して、手の組み方を説明。これにならって児童自ら手影絵に挑戦した。終了後、教室でも手影絵を試す児童が多くみられた。

参加者数（延べ 63 人）

《体育館での様子》

体育館の壁に直接投影してみる

みんなで“ふくろう”をつくってみた

４.ぱんだウインドオーケストラ メンバーによる
中高生のための吹奏楽クリニック

1 月 25 日(水)18:00～20:00　ノバホール・吾妻交流センター
2 月 4 日(土) 13:00～17:00 春日学園
2 月 11 日(土)13:00～17:00 ノバホール

ぱんだウインドオーケストラのコンサートマスター、上野耕平（茨城県出身）をはじめ、各パート、プロの演奏家を招き、中高生を対象とした演奏クリニックを実施した。

「学校の吹奏楽部員が少数なので、多くの仲間と演奏したい」、「もっとうまく演奏したい」などの理由で、多くの中高生が参加した。発表会当日の演奏では、最後まで演奏し切った子どもたちに、観客は惜しみない熱い拍手を送っていた。

参加料:500 円　　中高生参加者数(46 人)　成果発表会来場者(182 人)
楽器体験参加者数（12 人）

サックス・パートのクリニックの様子
（講師は上野耕平）

発表会の様子

５.地域創造 公共ホール音楽活性化事業 登録新人アーティスト実地研修アウトリーチ

3 月 7 日(火)竹園西小（4 コマ）

3 月 8 日(水)谷田部南小（2 コマ）

共催：(一財)地域創造

(一財)地域創造の「公共ホール音楽活性化事業」に登録する新人アーティストの実地研修先として、当財団において 3 組のアーティストを受け入れた。

具体的には、財団仲介のもと市内の 2 つの小学校にアーティストを派遣し、アウトリーチ事業を実施した（受け入れ希望校は公募にて決定）。新進気鋭の演奏家（打楽器デュオ・ピアノ・テノールの 3 組）の間近で聴く演奏に、子どもたちは、驚き、楽しみながら刺激を受けていた。

参加者数（竹園西小 140 人、谷田部南小 45 人）

【音楽室での様子】

カメハ(打楽器デュオ)

今田篤(ピアノ)

西村悟(テノール)

４）つくば市文化芸術振興事業（美術事業）

3 年ぶりに対面で実施できた「夏休みアート・デイキャンプ」では、新たなジャンル「リボーン・アートボール」（下記参照）部門を設け、写生だけでなく、立体作品も同時に制作・展示した。

また、つくば市が行う「つくばアートラボ 2022～2023」（プロのアーティストが廃校に滞在し、作品制作・展示する事業）では、企画段階から運営まで、事業全般にわたり関わってきた。

【事業内容】

１．夏休みアート・デイキャンプ 2022＆アートたんけん隊

7 月 23 日(土)、7 月 24 日(日)

各日 午前の部 9:30～12：00 午後の部 12:50～15:20

筑波大・大石膏室、5C 棟教室

夏休みアート・デイキャンプ展

8 月 23 日(火)～28 日(日)　9:30～17:00

茨城県つくば美術館

3 年ぶりに、筑波大学校内に集まって写生会を実施した。また、昨年度の「おうちでアート・デイキャンプ」も並行して行い、両者で作品募集をした。

さらに本年度は、廃棄されるサッカーボール等を再利用し、表面に着色・装飾する「リボーン・アートボール」も新たに加え、さらに充実したアート・デイキャンプとなった。

上記作品に対して、優秀作品に賞状等を授与するとともに、全作品をつくば美術館に展示した。また写生会当日は、大学構内に展示する教官、学生の作品等を直接鑑賞する「アートたんけん隊」も対面で実施することができた。

共催:筑波大学芸術系

アート・デイキャンプ参加者数(263 人) 作品展来場者数(826 人)

アートたんけん隊参加者(38 人)

リボーン・アートボール作成の様子

写生の様子 大石膏室

アートたんけん隊の様子

つくば美術館　展示風景

５）文化芸術活動支援事業

文化芸術活動支援事業は、市内で活動する文化芸術団体が行うイベント等に対して、公募により財政支援を行っている。なお、当事業は一般財団法人つくば都市交通センター様の特定寄付金を充当して実施した。

No.	事 業 名	分野	支援者（代表者）	会　場	実施日
１	音の宝箱・つくば2022／秘蔵の一枚聴かせてくれませんか	音楽	音の宝箱･つくば企画運営会議(鶴田昭則)	つくばセンター広場(吾妻) BiVi つくば（吾妻） ノバホールホワイエ(吾妻)	５月 15 日 10 月９日 ８月 26 日
２	Dancers in the forest ～森へ還る一日～	舞踊	畑中美佳	森のようちえん（中別府）	５月 22 日
３	きみがしらないひみつの三人	演劇	つくば子ども劇場（浜渦京子）	市民ホールつくばね(北条)	７月２日
４	かみなり楽祭	音楽 舞踊	下田屋有依	金村別雷神社（上郷）	９月３日
５	HAM2022：わたしより大きなりんかくがみえる	舞踊 美術	HAM2022 実行委員会（阿部七海）	つくばセンター広場・ペデストリアンデッキ等(吾妻)	10 月８～10 日
６	伊賀七座第８回公演 クリスマス伊賀七 vol.３	演劇	伊賀七座（北野茨）	伊賀七座劇場（谷田部）	12 月４日
７	つくば市に伝えられている伝説を舞踊化	舞踊	鈴木亮祐	つくばスタイル館(学園南)	10 月 22 日 10 月 23 日 配信１月

【支援事業詳細】

１．音の宝箱・つくば 2022／秘蔵の一枚聴かせてくれませんか

市民有志の企画運営会議によるコンサート。つくばセンター地区を中心に、春・秋 2 回開催した。夏にはレコード鑑賞会を開催。

春：エレクトーンやピアノ連弾、ジャズなど多彩なコンサート。

秋：JAZZ 中心のコンサート。学生から、年配者まで、幅広いアマチュア演奏家が出演。

レコード鑑賞会：参加者がお気に入りのレコードを持ち寄り、みんなで耳を傾ける音楽鑑賞会。

（春：150 名　秋：250 名　レコード鑑賞会：3 名）

２．Dancers in the forest ～森へ還る一日～

“森のようちえん”という文字通り“森が丸ごと幼稚園”の野外会場で、年齢・障がい等の境界線を曖昧にし、自然と一体化する参加型ダンスパフォーマンス。ダンサーだけでなく全員がアーティストとなる仕掛けが独特な空間を生み出した。

（30 名）

３．きみがしらないひみつの三人

子どもに良質な舞台芸術を届ける「つくば子ども劇場」主催の演劇公演。50 年の歴史を持つ「劇団うりんこ」の 3 人芝居。プロの演劇鑑賞を通し、親子や友人と笑い、感動しあえる体験を提供した。終演後はアフタートークがあり、来場者との交流も楽しめる機会となった。

（128 名）

４．かみなり楽祭

戦争問題やインフレ、コロナなど多くの方が不安を感じる社会で、平和を祈りたいという主催者の気持ちに賛同した地元アーティストたちによる、音楽・踊り・祈りをミックスした野外コンサート。神社を舞台に、太鼓パフォーマンスや有名ギタリストなど盛り上がる公演となった。

（23 名）

５．HAM2022:わたしより大きなりんかくがみえる

HAM（平砂アートムーブメント）は、筑波大学の学生を中心に構成されたアーティスト集団で、現代美術を実践する場所としての「つくば」の活用を目的に活動をしている。10月の実施のメインイベントでは、ペデストリアンデッキの公共空間でダンスや美術を通して、多くの市民に芸術鑑賞の機会を提供した。

（1,200 名）

６．伊賀七座第 8 回公演　クリスマス伊賀七 vol.3

伊賀七座とは、「谷田部のダビンチ」と称される発明家・飯塚伊賀七をモチーフに、オリジナル脚本に基づき制作・上演し続けるアマチュア劇団で、今年度 2 回目の支援となる。今作は、伊賀七が異世界に入り込むストーリーで、背景に CG を使い、ファンタジーの世界を表現していた。

（47 名）

７．つくば市に伝えられている伝説を舞踊化

主催の鈴木氏は、星占いの寺として知られる栗原地区の北斗寺の北斗七星信仰から着想を得て作品を創作した。古来より北斗七星は「妙見」として信仰され、「善悪・真理を見通す力」の意。研究学園駅前公園の雰囲気ある古民家で、独特なパフォーマンスを披露した。

（49 名、動画視聴数 300 回）

６）後援事業

当財団が開催の趣旨に賛同する事業について後援を行い、チラシ広報等で協力をした。

No.	後援団体	内　容	日　程	会　場
1	つくばセンター研究会	つくばセンタービル 40 周年記念プレイベント「ポストモダンの殿堂／つくばセンター・アートミュージアム構想」	11 月３日	ホテル日航つくば
2	追悼 磯崎新 つくば実行委員会	シンポジウム 追悼 磯崎新 思考の建築	３月 19 日	ノバホール

7）広報活動

文化芸術振興事業を中心に、各種公演等の情報提供、チケット販売を主目的として、以下の「広報活動」「友の会・ＴＣＦメンバーズ」の 2 つの活動を行ってきた。

なお、本年度は、ホームページ上にて過去のアーカイブ事業も実施し、広く市民に当財団の取り組みを発信した。

〈1〉 広報活動

財団の各種事業について、広く情報を周知し、参加者やチケット販売の促進、ノバホール、つくばカピオの貸館施設の利用促進を図るため、次のとおり実施した。

新規広報媒体として、つくばエクスプレスの車内広告掲示に取り組んだ。

種別	内　　容	実施状況
チラシ・ポスター	ノバホール・つくばカピオ、市内小中学校、地域交流センターほか公共施設、県内主要ホール、企業など	約 100 ヵ所/回
ダイレクトメール等	「友の会」会員ＤＭ 〃　　電子メール 「ＴＣＦメンバーズ」ＤＭ 〃　　電子メール	約 510 通 × 9 回 約 180 通×17 回 約 1500 通 計９回 約 1700 通 計 17 回
広報紙「芸文つくば」 「tcf 通信」	区会配布、ポスティング、市内公共施設など ＊「tcf 通信」は友の会・ＴＣＦメンバーズＤＭで配布	年 2 回 約 80,000 部/回
ホームページ	公演情報、貸館情報、施設予約状況など	常時アクセス数 10,260 回/月
広告等	市広報誌、各新聞、つくばエクスプレス駅通路掲示（つくば、守谷、南流山の各駅）、 つくばエクスプレス車内中吊広告、ＡＣＣＳ、 常陽リビング、フリーペーパーなど	チケット販売状況に応じ適宜掲載等

〈2〉 友の会・ＴＣＦメンバーズ

新型コロナウイルスの影響により、友の会制度を見直し、4 月から年会費制として新たに運用を開始した「ＴＣＦメンバーズ」。入会者は 3 月末時点で 500 名を超え、当初の予想を大きく上回り、順調なスタートを切った。会員特典として、ノバホール、つくばカピオに近いカフェの割引制度など、新しいサービスを設けた。更なるサービスの周知・拡充に努め、会員数の増加を図っていく。

従来の友の会会員約 600 名には、これまでのご愛顧に感謝を込め、1 年間限定で継続的にサービス（チケット割引、先行予約など）を提供した。(2023 年 4 月末でサービス提供終了)

会員登録者数　ＴＣＦメンバーズ　R5 年 3 月末　542 人

友の会　R4 年 3 月末　649 人(内サポーター会員 21 人)

（２）指定管理事業

１）指定管理の受託

令和 4 年度、ノバホールとつくばカピオの指定管理は、第 5 期 5 年目を迎えた。運営に当たっては当財団の公益性という性格から、安全・安心を最優先する中で、低廉で公平な貸し出しや利用者へのサービスの徹底を図り，適切な維持管理に努めてきた。

本年度は、昨年度に引き続き徹底した新型コロナウイルス感染拡大対策による適切な利用環境の提供に加え、設備の改修工事による施設貸出休止の対応、また世界的なエネルギー等の高騰などがあり、例年に比べて変則的な運営となったが、つくば市と緊密な連携を図りながら指定管理者として責任ある運営を心掛けてきた。

また、第 5 期指定管理期間の最終年となるため、時期指定に向けての準備を適切に行った結果、第 6 期目の指定が確定している。

【指定管理料等の推移】

		ノバホール	つくばカピオ
第 1 回	期間	平成 18 年度～平成 20 年度	平成 18 年度～平成 20 年度
	指定管理料	41,007,000 円／年	119,607,000 円／年
第 2 回	期間	平成 21 年度～平成 23 年度	平成 21 年度～平成 23 年度
	指定管理料	38,957,000 円／年	113,627,000 円／年
第 3 回	期間	平成 24 年度～平成 26 年度	平成 24 年度～平成 26 年度
	指定管理料	49,060,000 円／年　（注 1）	108,620,000 円／年
第 4 回	期間	平成 27 年度～平成 29 年度	平成 27 年度～平成 29 年度
	指定管理料	51,218,000 円／年　（注 2）	107,300,000 円／H27 114,425,000 円／H28,29（注 3）
第 5 回	期間	平成 30 年度～令和 4 年度	平成 30 年度～令和 4 年度
	指定管理料	50,300,000 円／H30 50,900,000 円／R1（注 4） 51,400,000 円／R2（注 4） 58,869,000 円／R3（注 5） 65,774,630 円／R4（注 6）	114,500,000 円／H30 115,600,000 円／R1（注 4） 116,700,000 円／R2,R3（注 4） 129,960,293 円／R4（注 6）
第 6 回	期間	令和 5 年度～令和 9 年度	令和 5 年度～令和 9 年度
	指定管理料	62,711,000 円／年	118,488,000／年

（注 1）小ホールの管理開始

（注 2）減免制度に対する措置

（注 3）平成 28 年度よりつくばカピオ月曜休館日開館実施

（注 4）令和元年 10 月より消費税変更に伴う措置

（注 5）つくばセンタービル内つくば市施設の光熱水費負担割合見直しに対する措置

（注 6）エネルギー等の高騰に伴う措置

２）ノバホールの指定管理

〈１〉　管理運営上の方針について

「地域の芸術文化の振興と住民福祉の増進を図り、もって文化水準の向上に寄与する」という設置目的に留意し、公の施設として市民に対して、公平・公正な利用機会を確保し、指定管理業務を適正に運用していくことを基本方針とする。

本年度は、昨年度に引き続き、コロナ禍での安全・安心な施設運営を行うため、施設の清掃・除菌・換気や職員の健康管理等の感染対策の徹底に努めるとともに、大ホール空調工事・小ホールリニューアル工事に伴う貸出休止期間について、利用者への周知や影響の最小化等に万全を期すため、つくば市との密接な連携のもとに対応に努めた。

また、日常及び定期的な施設点検を行い、必要に応じて迅速な修繕を実施するとともに、利用者アンケートを行なって管理運営面に反映させるなど、より一層のサービス向上に努めてきた。さらには、季節に応じた植栽を、エントランス、ホワイエを中心に配置して、施設環境の向上にも努めた。

当財団の文化芸術振興事業においては、部門間で十分に連携することで対面公演を円滑にすすめており、ウィズコロナ時代の貸館業務においてもこのノウハウを活かして管理運営に役立てていきたい。

〈２〉　安全・安心面での取り組み

法定点検等の堅実な実施、緊急時に備えた訓練や職員の能力・資質の向上のための研修等を着実に行い、事業計画に掲げた「達成指標」をすべて満たす、安全・安心な利用環境の提供に努めた。なお、特に感染防止の取り組みについては、詳細を別紙 2（ｐ33、34）にまとめた。

【点検の取り組み】

＜法定・設備点検＞

① 設備定期点検整備･･･機械設備、受変電設備、分電盤点検を 12 回実施
② 電気工作物点検　･･･法定点検を 6 回、巡視点検を毎日実施
③ 汚水管清掃　　･･･1 回実施（12 月）
④ 舞台装置保守点検･･･4 回実施（6 月・9 月・12 月・3 月）
⑤ 音響装置保守点検･･･2 回実施（5 月・12 月）
⑥ 照明機器保守点検･･･2 回実施（6 月・1 月）
⑦ 消防設備点検　　･･･総合点検 1 回（8 月）、外観機能点検 1 回（2 月）実施
⑧ ピアノ点検　　･･･スタインウェイ（1 月）、ベーゼンドルファー（2 月）、ヤマハ（3 月）各 1 回実施

※10 月より小ホール改修工事が開始されたため、当該期間に実施時期が重なった小ホール音響装置・照明機器・ピアノ（ベヒシュタイン）点検については未実施

＜巡視点検等＞

① 巡視点検 ･･･事務職員により 1 日 4 回実施し、火気、不審者、不審物の早期発見に努めた、夜間においては、警備業務を委託し 1 日 1 回実施
② 設備保守運転業務･･･設備機器、電気工作物巡視点検を毎日実施
③ 舞台操作業務　　･･･毎日実施
④ 保安警備業務　　･･･毎日実施
⑤ 植栽管理業務　　･･･適宜実施
⑥ 建物点検　　･･･毎月実施

＜その他＞

① 日常清掃･･･休館日を除き毎日実施
② 定期清掃･･･カーペット清掃（9 月）、床ワックス（3 月）を実施
③ 空気環境測定･･･6 回実施（2 カ月に 1 回）
④ 害虫駆除･･･4 回実施（3 カ月に 1 回）
⑤ 感染症対策････日常的なマスク着用と手の消毒励行。アルコール消毒液、アクリル板、サーマルカメラ等の設置やイベント時の感染防止策チェックリストの提出により、感染対策に努めた

※詳細は別紙 2「新型コロナウイルス感染拡大防止対策等の実施状況」（P33、34）参照

【緊急時の対応】

① 防火管理　･･･自衛消防隊を組織するとともに消防計画を作成し、この計画をもとに消防訓練、防災訓練を実施（6 月・12 月）
② 緊急連絡網･･･職員連絡網を作成し、緊急時に対応
③ 事前打合せ･･･利用者との事前打合せを行い、非常時の避難経路の確認、役割分担や運営方法等について説明・協議し、安全確保に努めた。また、新型コロナウイルス対策について説明、相談を行い、利用時の感染防止に取り組んだ

【人材育成や職員の研修等の取り組み】

① 定例会議･･･毎月実施し、催事情報や課題等の共有に努めた
② 公立文化施設協議会の研修･･･年 4 回（6 月、9 月、1 月、2 月）参加し、管理運営上の情報交換や知識の習得に努めた
③ 定期研修･･･普通救命講習を 1 月 17 日（火）、18 日（水）に受講し、緊急時の対応に備えた
④ 設備取扱研修･･･スプリンクラー設備について操作確認研修を実施し、設備の理解や緊急時の対応を確認した

〈３〉　サービス向上面での取り組み

【利用者アンケートの実施】

「達成指標」として、①「管理状況」、③「職員の対応」については前年以上、②「利用しやすさ」について 95%以上の「満足（やや満足含む）」を目標に設定し、3 項目とも未達成となったが、高い水準を保っている。アンケート結果、意見・要望の状況は下記の表及び別紙 3 のとおりとなっている。

内容	達成指標	満足	普通	不満	無回答
①　管 理 状 況	前年度以上	93%(98)	7%(1)	0%(0)	0%(1)
②　利用しやすさ	95%以上	92%(95)	6%(4)	2%(0)	0%(1)
③　職 員 の 対 応	前年度以上	96%(98)	4%(1)	0%(0)	0%(1)

※(　)は前年度実績、サンプル数：172 件（132 件）

※詳細は別紙 3「令和 4 年度　ノバホール アンケート調査結果」（ｐ35）参照

【情報発信事業】

① ホームページ･･･財団ホームページで施設概要、利用規約・料金をはじめ、館内 3D 画像紹介や図面のダウンロード、さらには催事案内、予約状況等に関する情報を常時更新して提供した。また、「新型コロナウイルス感染防止対策とお願い」の掲載や、感染拡大に伴うイベントの中止や延期、改修工事による施設の貸出休止などの情報を逐一告知した

② 催事案内･･･ノバホール、つくばカピオ、市内の各地域交流センターで配布した

③ ポスター・チラシ･･･市内、近隣市町村のイベント関連ポスター・チラシを掲示して情報発信に努めた

④ デジタルサイネージ･･･デジタルサイネージを導入し窓口付近に設置することで、催事情報・チケット販売情報等の広報体制を強化し利便性の向上を図った

【総合的なサービスの向上】

① 各種サービス･･･チケットの受託販売やコピー・FAX サービス、電子ピアノ・スタンド等館内備品の貸出等を行い、利便性の向上に努めた。また、キャッシュレス決済（PayPay）の対応により、接触感染対策の強化及び利便の向上を図った

② 自主事業･･･音の宝箱・つくば企画運営会議と共催で「秘蔵の一枚　聴かせてくれませんか」と題し、各々参加者がレコードを持ち寄って、思い入れのある曲を鑑賞する企画を実施（12 月、3 月）。ホワイエの“響き”を体感していただくとともに、新たなホワイエの利用方法を提案し、利用率の向上を目指すことを目的とした

※詳細は別紙 4「令和 4 年度　ノバホール自主事業　チラシ」（ｐ36）参照

③ その他･･･つくばセンター地区活性化協議会と共同で、つくばセンタービル（ホール入り口壁面）のイルミネーションを行った。また、「アダプト・ア・パーク」に参加し，大清水公園ほか周辺の美化に努めた

〈４〉　利用の状況について

【開館日数】

① 通常開館･･･308 日

② 臨時開館･･･1 日（12 月 29 日（木）「第 15 回つくばで第九」公演）

③ 休館日　･･･56 日（月曜または月曜祝日時の翌日 51 日、年末年始 5 日）

【職員の配置】

① 事務管理職員･･･午前 8 時 30 分～午後 10 時、2 交代勤務で 5 名配置

② 舞台管理職員･･･午前 8 時 30 分～催事終了、2 名配置

③ 清掃職員･･･午前 7 時 30 分～午後 4 時 30 分、1 名配置

【予約申請の受付業務】

コロナ禍での自発的な予約キャンセルは減少し稼働率は回復傾向にあるが、改修工事に伴う貸出休止期間の影響により、新規申請件数は大きく減少し、附属申請件数は微増となった。

① 受付時間･･･午前 9 時～午後 8 時で実施

② 受付件数･･･新規申請　181 件(330)　変更申請　15 件(26)
附属申請　289 件(268)　中止申請　12 件(110)

※(　)は前年度実績

※改修工事の影響により、下記の期間は貸出休止及び条件付貸出とした

・5 月 9 日（月）～7 月 5 日（火）ホール空調設備改修工事により 49 日間貸出休止

・10 月 3 日（月）～3 月 31 日（金）小ホール改修工事により 150 日間貸出休止及び条件付貸出

【利用状況】

施設	利用日数	利用可能日数	入場者数	稼働率
ホ　ー　ル	181 日 (151)	244 日 (268)	70,674 人 (35,936)	74% (56)
小 ホ ー ル	108 日 (114)	158 日 (296)	5,617 人 (6,452)	68% (39)
合　　計			76,291 人 (42,388)	

施設	利用区分数	利用可能区分数	稼働率
ホ　ー　ル	423 コマ (336)	632 コマ (798)	67% (42)
小 ホ ー ル	191 コマ (220)	470 コマ (881)	41% (25)

※(　)は前年度実績

※コマ…最小利用単位

【公益目的・目的外利用状況】

施設	区分	利用件数	入場者数
ホ　ー　ル	公益目的利用	103 件(76)	35,524 人(10,807)
	公益目的外利用	81 件(76)	35,150 人(25,129)
小ホー ル	公益目的利用	55 件(57)	2,257 人(1,516)
	公益目的外利用	56 件(60)	3,360 人(4,936)
合　　計	公益目的利用	158 件(133)	37,781 人(12,323)
	公益目的外利用	137 件(136)	38,510 人(30,065)

※(　)は前年度実績

【公益目的利用の状況】

施設	利用件数	入場者数
ホ　　ー　　ル	103 件(76)	35,524 人(10,807)
小　ホ　ー　ル	55 件(57)	2,257 人(1,516)
合　　計	158 件(133)	37,781 人(12,323)

※(　)は前年度実績

【公益目的利用のうち減免利用の状況】

施設	利用件数	入場者数
ホ　　ー　　ル	11 件(2)	6,278 人(91)
小　ホ　ー　ル	0 件(2)	0 人(2)
合　　計	11 件(4)	6,278 人(93)

※(　)は前年度実績

主な利用内容

・つくば市市民文化祭ノバホール音楽会

・つくば市立中学校合唱祭など

【公益目的外利用の状況】

施設	利用件数	入場者数
ホ　　ー　　ル	81 件(76)	35,150 人(25,129)
小　ホ　ー　ル	56 件(60)	3,360 人(4,936)
合　　計	137 件(136)	38,510 人(30,065)

※(　)は前年度実績

主な利用内容

・民間企業安全大会

・民間企業「清塚信也コンサート」など

３）つくばカピオの指定管理

〈１〉　管理運営上の方針について

「文化・スポーツ活動等を通して交流の場を提供し、豊かな市民生活の形成に寄与する」という設置目的を尊重し、公の施設として市民に対して、公平・公正な利用機会を提供し、指定管理業務を適正に運用していくことを基本方針とする。

本年度は、いまだ続くコロナ禍において安全・安心な施設運営を行うため、ノバホール同様、施設の清掃・除菌・換気を徹底し、同時にマスク着用や対話用のシールドの設置、体温の記録等により職員の健康管理も行い、利用者、運営者とも感染をしない・させないよう対策を実施した。さらに、文化芸術事業においても部門間で連携することで観客への感染対策を十分に行うことができた。

また、施設の経年に伴い各所に修繕が必要となっているが、日常点検及び業者による定期的な点検により優先度を確認し、市と連携して迅速な対応を行っている。加えて、利用者アンケートの結果を管理運営面に反映させるなど、より一層のサービス向上に努めてきた。

〈２〉　安全・安心面での取り組み

法定点検等の的確な実施、緊急時に備えた訓練や職員の能力・資質の向上のための研修等を実施し、事業計画に掲げた「達成指標」をすべて満たし、安全・安心な利用環境の提供に努めた。なお、特に感染防止の取り組みについては、詳細を別紙５（ｐ37～39）にまとめた。

【点検の取組み】

＜法定・設備点検＞

① 弱電設備･･･セントラル監視システム、ローカル監視システムを１回(8 月)実施
② 消防設備･･･総合点検１回（8 月）、外観点検１回（1 月）実施
③ 空調機器･･･空調機、吸収式冷凍機、冷却塔、ポンプ類、熱源設備を実施
（4 月・7 月・8 月・10 月・11 月・1 月・3 月）
④ 受変電設備点検･･･6 回実施(遠隔監視により毎日実施)
⑤ 受変電設備清掃･･･1 回実施（6 月）
⑥ 給排水衛生設備･･･飲料水全項目水質分析、簡易水道水質検査を１回実施（8 月）
残留塩素測定を月１回実施、受水槽清掃を１回（6 月）、雑排水清掃を２回（9 月・3 月）実施
⑦ 自動ドア　　･･･2 回実施（8 月・2 月）
⑧ エレベーター点検…毎月実施
⑨ 可動ステージ　･･･1 回実施（10 月）
⑩ 音響設備点検　･･･2 回実施（9 月・2 月）
⑪ 照明設備点検　･･･2 回実施（9 月・1 月）
⑫ 舞台設備点検　･･･2 回実施（11 月・2 月）

⑬ ピアノ点検　　･･･1 回実施（12 月）
⑭ 電動ルーバー点検　　･･･1 回実施（8 月）
⑮ オペラウォール点検　　･･･1 回実施（6 月）
⑯ ロールスクリーン点検　･･･1 回実施（7 月）
⑰ バスケットゴール点検　･･･1 回実施（2 月）
⑱ 監視カメラ点検　　･･･1 回実施（8 月）
⑲ 放送設備点検　　･･･1 回実施（8 月）
⑳ 自家発電機点検　　･･･1 回実施（6 月）

＜巡視点検等＞

① 巡視点検　･･･1 日に 4 回実施し、火気、不審者、不審物の早期発見に努めた
② 設備保守運転業務　･･･毎日実施
③ 舞台操作業務　　･･･毎日実施
④ 機械警備業務　　･･･毎日実施
⑤ 植栽管理業務　　･･･適宜実施
⑥ 建物点検　　･･･毎月実施

＜その他＞

① 日常清掃･･･毎日実施
② 定期清掃･･･ガラス（8 月）、カーペット（8 月）、塩ビ系フロア（3 月）、フローリング（2 月・3 月）、ブラインド（12 月）を実施
③ 空気環境測定･･･6 回実施（2 カ月に 1 回）
④ 害虫駆除　　･･･6 回実施（2 カ月に 1 回）
⑤ 感染症対策　･･･日常的なマスク着用と手の消毒を励行。利用後の室内換気、消毒液の各所設置、対策ポスターの掲示、サーマルカメラによる入館時の体温測定、イベント時の感染防止策チェックリストの提出など、感染対策に努めた
※詳細は別紙 5「新型コロナウイルス感染拡大防止対策等の実施状況」(P37～39)参照

【緊急時の対応】

① 防火管理　　･･･自衛消防隊を組織するとともに消防計画を作成し、この計画をもとに消防訓練を実施（8 月・1 月）
② 緊急連絡網　･･･職員連絡網とセコム連絡網を作成し、緊急時に対応した
③ 事前打合せ　･･･利用者との事前打合せを行い、非常時の避難経路の確認、 役割分担や運営方法について説明・協議し、安全面の確保に努めた。また、新型コロナウイルス対策について説明、相談を行い、利用時の感染防止に取り組んだ

【人材育成や職員の研修等の取り組み】

① 定例会議･･･毎月実施し、催事情報や課題等の共有に努めた
② 公立文化施設協議会の研修･･･年 4 回（6 月、9 月、1 月、2 月）参加し、管理運営上の情報交換や知識の習得に努めた
③ 定期研修･･･普通救命講習を 1 月 17 日（火）、18 日（水）に受講し、緊急時の対応に備えた
④ 設備取扱研修･･･設備の理解を深め、利用者サービスの向上に努めた
⑤ 自主事業視察･･･坂東市文化振興財団が主催した避難訓練コンサートに参加した（3 月）

〈３〉　サービス向上面での取り組み

【利用者アンケートの実施】

「達成指標」として、①「管理状況」、③「職員の対応」については前年以上、②「利用しやすさ」については 90%以上の「満足（やや満足含む）」を目標に設定し、3 項目とも「達成指標」以上の数値となった。アンケート結果、意見・要望の状況は下記の表及び別紙 6 のとおりとなっている。

内容	達成指標	満足	普通	不満	無回答
① 管 理 状 況	前年度以上	96%(94)	4%(5)	0%(1)	0%(0)
② 利用しやすさ	90%以上	95%(94)	3%(6)	2%(0)	0%(0)
③ 職 員 の 対 応	前年度以上	96%(94)	3%(6)	1%(0)	0%(0)

※(　)は前年度実績，サンプル数：668 件（511）

※詳細は別紙 6「令和 4 年度　つくばカピオアンケート調査結果」（ｐ40）参照

【情報発信事業】

① ホームページ･･･財団ホームページで施設概要、利用規約・料金をはじめ、図面のダウンロード、さらには催事案内、予約状況等に関する情報を常時更新して提供した。また、「新型コロナウイルス感染防止対策とお願い」の掲載や、感染拡大に伴うイベントの中止や延期、改修工事による施設の貸出休止などの情報を逐一告知した
② 催事案内･･･ノバホール、つくばカピオ、市内の各地域交流センターで配布した
③ ポスター・チラシ･･･市内、近隣市町村のイベント関連ポスター・チラシを掲示して情報発信に努めた
④ デジタルサイネージ･･･デジタルサイネージを導入しエントランスに設置することで、催事情報・チケット販売情報等の広報体制を強化し利便性の向上を図った

【総合的なサービスの向上】

① 各種サービス･･･チケットの受託販売やコピー･FAX サービス、プロジェクター・消毒液･車椅子･スタンド等の館内備品の貸出等を行い、利便性の向上に努めた。また、キャッシュレス決済（PayPay）の対応により、接触感染対策の強化及び利便性の向上を図った

② 自主事業･･･例年、バックステージツアー等の自主事業を行ってきたが、新型コロナ感染症の流行がいまだ収まらないことを考慮し、今年度は中止とした

③ その他･･･「アダプト・ア・パーク」に参加し大清水公園ほか周辺の美化に努めた

〈４〉　利用の状況について

【開館日数】

① 通常開館･･･356 日

② 休館日　･･･9 日（保守点検等による休館 3 日、年末年始 6 日）

【職員の配置】

① 事務管理職員･･･午前 8 時 30 分～午後 10 時、2 交代勤務で 6 名配置

② 舞台管理職員･･･午前 8 時 30 分～催事終了、2 名配置

③ 設備管理職員･･･午前 8 時～午後 10 時、2 交代勤務で 4 名配置

④ 清掃職員　　･･･午前 8 時～午後 5 時、2 名配置

【予約申請の受付業務】

新型コロナウイルス感染症の流行は続いたが、それでも昨年までに比べてイベント等の開催は増え、感染拡大の警戒や感染による利用中止は大幅に減少した。これらの結果、利用実績は回復傾向となった。

① 受付時間･･･午前 9 時～午後 8 時で受付業務を実施した。

② 受付件数･･･新規申請 2,504 件(2,390)　変更申請　370 件 (354)
附属申請　976 件 (659)　中止申請　94 件 (508)

※（　）は前年度実績

※改修工事の影響により、下記の期間は貸出休止とした

・5 月 9 日（月）～9 月 16 日（金）ホール舞台機構改修工事により 129 日間貸出休止

【備品の維持管理】

① 日常確認･･･建物及び備品の現状確認を巡視点検の際に実施

② 定期確認･･･建物備品、貸出備品の数量確認とメンテナンスを実施

③ 修繕　　･･･建物、設備の修繕を実施

【利用状況】

施設	利用日数	利用可能日数	入場者数	稼働率
アリーナ	339日 (282)	341日 (284)	70,372人 (42,999)	99% (99)
ホール	142日 (148)	209日 (281)	18,079人 (15,924)	68% (53)
上記以外9施設 ＜日数は平均＞	319日 (262)	351日 (295)	37,867人 (24,764)	91% (89)
合計			126,318人 (83,687)	

施設	利用区分数	利用可能区分数	稼働率
アリーナ	1,772コマ (1,452)	2,015コマ (1,674)	88% (87)
ホール	352コマ (349)	621コマ (822)	57% (42)
上記以外9施設 ＜合計＞	24,684コマ (18,942)	52,745コマ (43,626)	47% (43)

※(　)は前年度実績

※コマ…最小利用単位

【公益目的・目的外利用状況】

施設	区分	利用件数	入場者数
アリーナ	公益目的利用	451件　(370)	38,296人　(14,364)
	公益目的外利用	383件　(323)	32,076人　(28,635)
ホール	公益目的利用	92件　(70)	9,813人　(4,777)
	公益目的外利用	69件　(91)	8,266人　(11,147)
上記以外9施設	公益目的利用	2,006件(1,417)	15,648人　(7,509)
	公益目的外利用	3,115件(2,678)	22,219人(17,255)
合計	公益目的利用	2,549件(1,857)	63,757人(26,650)
	公益目的外利用	3,567件(3,092)	62,561人(57,037)

※(　)は前年度実績

【公益目的利用の状況】

施設	利用件数	入場者数
アリーナ	451 件 (370)	38,296 人 (14,364)
ホール	92 件 (70)	9,813 人 (4,777)
上記以外９施設	2,006 件(1,417)	15,648 人 (7,509)
合計	2,549 件(1,857)	63,757 人(26,650)

※( )は前年度実績

【公益目的利用のうち減免利用の状況】

施設	利用件数	入場者数
アリーナ	27 件 (12)	20,362 人(2,450)
ホール	28 件 (14)	3,947 人 (358)
上記以外９施設	190 件 (69)	3,302 人 (402)
合計	245 件 (95)	27,881 人(3,210)

※( )は前年度実績

主な利用内容

・つくば市民文化祭
・つくば科学フェスティバル
・つくば市プレゼンテーションコンテスト
・つくば市二十歳の集い
・チャレンジアートフェスティバル
・科学の甲子園　等

【公益目的外利用の状況】

施設	利用件数	入場者数
アリーナ	383 件 (323)	32,076 人(28,635)
ホール	69 件 (91)	8,266 人 (11,147)
上記以外９施設	3,115 件(2,678)	22,219 人(17,255)
合計	3,567 件(3,092)	62,561 人(57,037)

※( )は前年度実績

主な利用内容

・プロボクシング、プロバレーボール
・演劇公演、和楽器コンサート、映画上映
・ダンスコンテスト　等

（３）地域連携

【会員及び関係団体等一覧表】

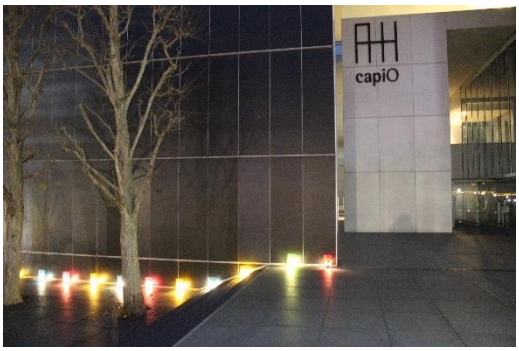
No.	団体名	役職等
1	つくばセンター地区活性化協議会	会員
2	アダプト・ア・パーク（つくば市公園里親制度）	参加団体
3	筑波研究学園都市交流協議会	会員
4	（一社）つくば観光コンベンション協会	会員
5	つくばフェスティバル実行委員会	委員
6	まつりつくば大会本部	委員
7	つくば市民文化祭実行委員会	委員
8	つくば市商工会	会員
9	（公社）土浦法人会	会員

【活動内容】

〈１〉　つくばセンター地区活性化協議会が実施する奉仕活動・イベントへの参加

① フラワーボックスの花の植替え作業への参加（5 月、11 月）

② 「ランタンアート 2022」への参加（12 月）



〈２〉　アダプト・ア・パークへの参加

毎月、大清水公園の清掃及び遊具点検等（併せてペデストリアンデッキのゴミ拾い）を実施する。

別紙１

令和４年度 つくば市文化芸術振興事業一覧

分類	No.	対象	事業名 (*は共催事業)	日程	会場	入場者・参加者数	入場率
公演鑑賞型	1	一般	*ARTS for the future!2 補助対象事業* 串田和美一人芝居「月夜のファウスト」	6 月 9 日	ノバホール 小ホール	82 人	97%
	2	一般	*ARTS for the future!2 補助対象事業* 林家たい平 落語会	6 月 19 日	市民ホール とよさと	294 人	43%
	3	一般	古澤巖の品川カルテット(*)	7 月 6 日	ノバホール	昼の部 247 人 夕の部 164 人 フリー 72 人	70%
	4	一般	*ARTS for the future!2 補助対象事業* 神津善行のタンゴの世界 ～華麗なるアルゼンチン・タンゴ～	7 月 21 日	ノバホール	400 人	52%
	5	一般	*サンクトペテルブルク国立舞台サーカス代替事業* ナプア・グレイグ with ハワイアン・フラ・ダンサーズ(*)	7 月 31 日	ノバホール	766 人	82%
	6	一般	*追加事業* 桂宮治 独演会(*)	9 月 7 日	ノバホール	447 人	46%
	7	一般 親子	キエフ・クラシック・バレエ 「白鳥の湖 －全 2 幕－」(*)	9 月 17 日	ノバホール	昼公演 837 人 夕公演 780 人	84%
	8	一般	*泉ピン子「すぐ死ぬんだから」代替事業* 和楽器演奏集団独楽結成 20 周年記念公演 ～みちなかば～(*)	9 月 30 日	つくばカピオホール	235 人	64%
	9	一般	硬派弦楽アンサンブル 石田組(*)	10 月 15 日	ノバホール	606 人	61%
	10	一般	世良公則 アコースティックソロライブ～迸る～(*)	10 月 22 日	ノバホール	510 人	55%
	11	一般	*KEK 科学と音楽の饗宴 2022 代替事業* 神津善行企画・司会・解説 「シャンソン特集」(*)	11 月 27 日	ノバホール	366 人	53%
	12	一般	イルカ＆太田裕美 ラブリー♡コンサート(*)	12 月 3 日	ノバホール	873 人	93%
	13	一般	*追加事業* 新日本フィルハーモニー交響楽団 ニューイヤーコンサート 2023 ～映画音楽とともに～(*)	1 月 6 日	ノバホール	955 人	96%
	14	一般	*劇場・音楽堂等の子供鑑賞体験支援事業採択事業* マリコとオペラ！ ～作家・林真理子のトーク・コンサート～	1 月 29 日	ノバホール	702 人	89%
	15	一般 親子	影絵劇団・かかし座「ふしぎの国のアリス」	2 月 25 日	つくばカピオホール	363 人	97%
	16	一般	*追加事業* 映画「祈り」～幻に長崎を想う刻～	3 月 19 日	市民ホール とよさと	162 人	44%

平均入場率 70%(前年度 57%)

入場率＝入場者数／有効座席数(有効座席数は各公演会場設営、コロナ対策等により変動

別紙 1

分類	No.	対象	事業名 （＊は共催事業）	日程	会場	入場者・参加者数	入場率
市民参加・体験型	1	一般	小倉良のAll that Music！（全3回）	11 月 9 日 1 月 13 日 2 月 3 日	つくばカピオホール	延べ 386 人	46%
	2	一般	第15 回つくばで第九	12 月 29 日	ノバホール	歌い場 203 人 合唱団 89 人 来場者 793 人	78%
	3	子ども	かかし座「ふしぎの国のアリス」関連企画 かかし座 手影絵ワークショップ	1 月 17 日	葛城小学校	延べ 63 人	—
	4	中高生	*追加事業* ぱんだウインドオーケストラ メンバーによる 中高生のための吹奏楽クリニック	1 月 25 日 2 月 4 日 2 月 11 日	ノバホール・ 春日学園・ 吾妻交流センター	延べ 240 人	—
	5	子ども	*追加事業* 地域創造 公共ホール音楽活性化事業 登録新人アーティスト実地研修アウトリーチ	3 月 7 日 3 月 8 日	竹園西小学校 谷田部南小学校	竹園西 140 人 谷田部南 45 人	—
美術事業	1	子ども	夏休みアート・デイキャンプ 2022 ＆アートたんけん隊 夏休みアート・デイキャンプ展(*)	7 月 23 日 7 月 24 日 8 月 23 日～28 日	筑波大学 つくば美術館	延べ 1,127 人	—
	2	一般 親子	つくばアートラボ 2022-2023 ～田水山でつくる～(*)	1 月 28 日 3 月 11 日 3 月 12 日	旧田水山小学校	延べ 237 人	—

別紙 2

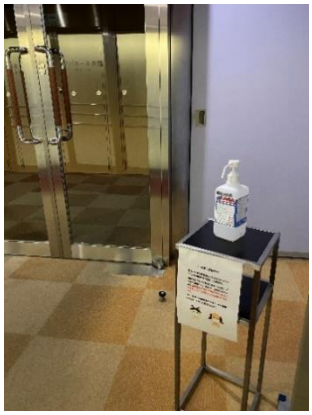
新型コロナウイルス感染拡大防止対策等の実施状況

ノバホールでは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記のとおり対策等を実施した。なお、消耗品等の購入に際しては、昨年度に引き続き文化庁補助金を活用した。

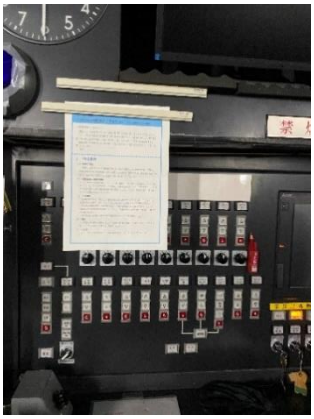
1. 新型コロナウイルス感染拡大防止対策の実施

・窓口業務における飛沫感染防止のためアクリル板の設置

・アルコール消毒液の設置

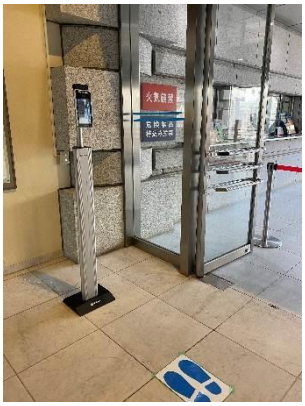


・館内にガイドラインを掲示し、ＨＰでも利用条件等を周知した。



・ホワイエ・トイレの対策及び飛沫感染防止対策のためのアクリル板の貸出

・サーマルカメラによる入場時の検温の実施



・非接触型決済システムの導入

・館内消毒の実施

利用の状況に応じ館内の消毒を実施した。また、備品消毒用のアルコール消毒セットを利用者へ貸出し、光触媒コーティング実施個所と未実施個所で消毒内容を変更するなど、感染防止に努めた。

・貸出用アルコール消毒セット

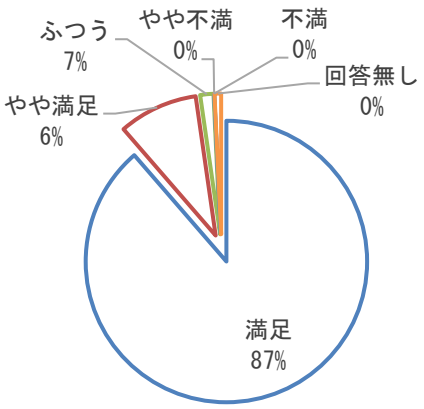
2. 利用内容による感染対策の周知

利用内容に応じて感染対策を的確に実施できるよう、舞台及び楽屋等の利用上の注意事項をとりまとめ周知している。

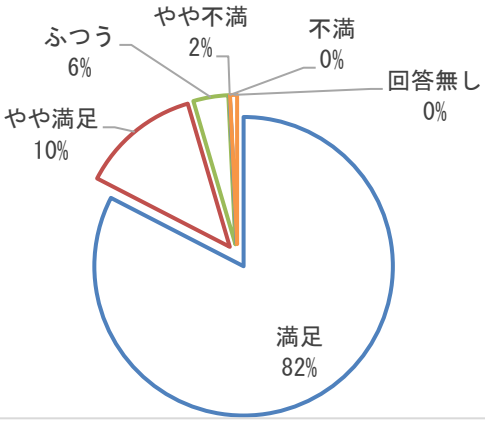
別紙３

令和４年度　ノバホール　アンケート調査結果

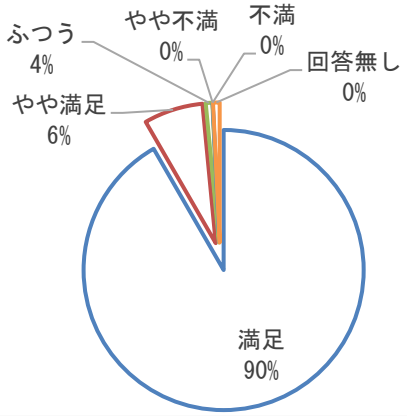
当施設の管理は行き届いていると思いますか。



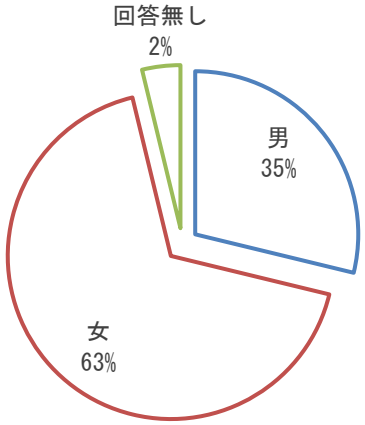
当施設は利用しやすいと思いますか。



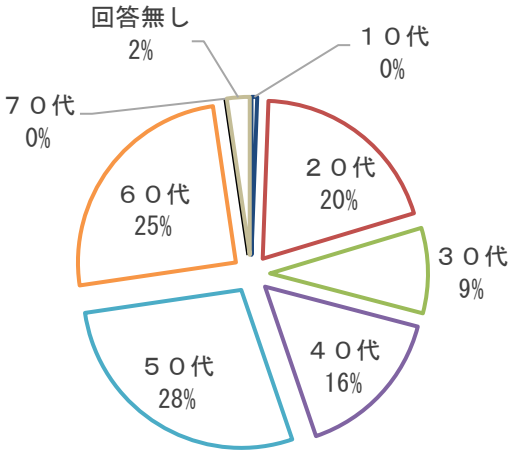
当施設職員の対応はいかがですか。



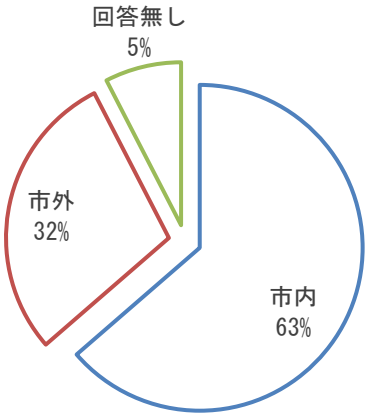
性　　別



年　　代



住　　所



サンプル数 172 件

別紙 4

令和 4 年度　ノバホール自主事業　チラシ

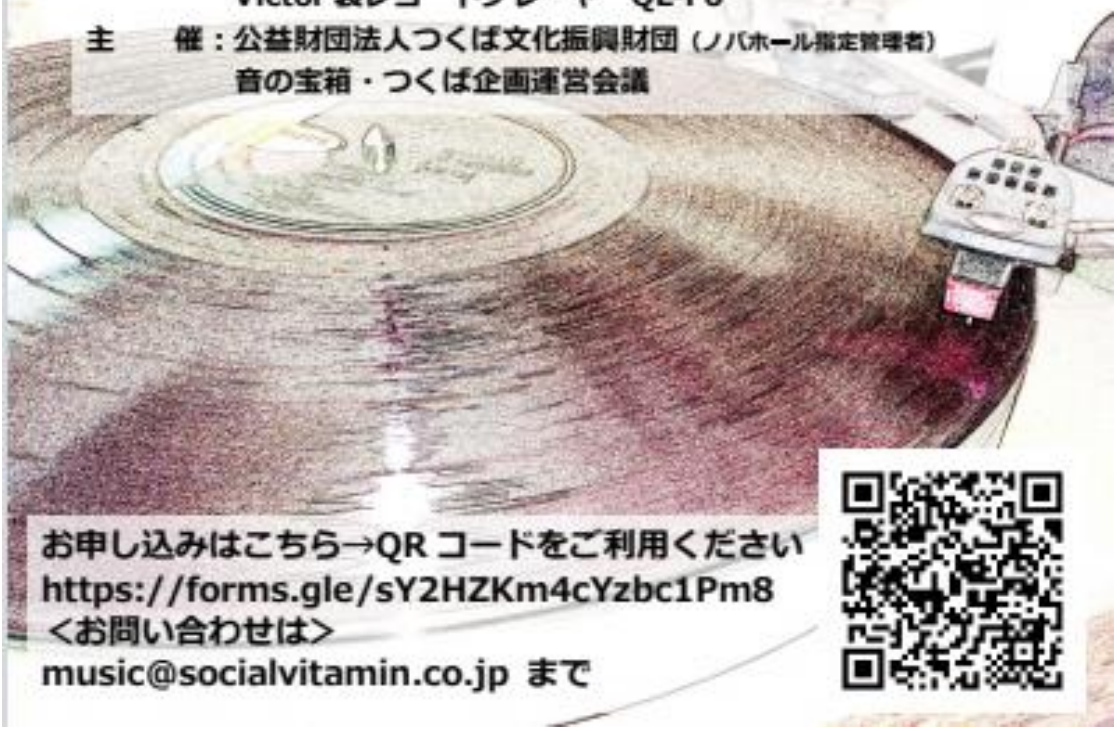
令和 4 年度ノバホール自主事業

秘蔵の一枚
聴かせてくれませんか #3

音の宝箱 つくば

楽器を演奏できる人も、できない人も、レコード一枚で『だれでも音楽を提供できる』というコンセプトで、持ち寄った音楽に、ただただ楽しく耳を傾ける会です。
提供頂く音源の条件は"レコード"、この一点。ジャンルは問いません。誰かに聞かせたいレコードを参加した皆さんと一緒に楽しみませんか。

日　　時：２０２２年１２月２２日（木）14 時より（13:30 受付開始）
場　　所：ノバホールホワイエ
参 加 費：無　料
参加方法：プレーヤー15 名（レコード持参の方）
　　聴くだけ参加 15 名　いずれも、要参加申し込み
参加条件：“かけたい一曲”のレコードを持参できる方
　　持ち寄った様々なジャンルの曲をみんなで楽しく聴ける方
※このイベントは事前申し込み制と致します。
使用機材：PIONEER 製レコードプレーヤーES-4PL
　　Victor 製レコードプレーヤーQL-F6
主　　催：公益財団法人つくば文化振興財団（ノバホール指定管理者）
　　音の宝箱・つくば企画運営会議



お申し込みはこちら→QR コードをご利用ください
https://forms.gle/sY2HZKm4cYzbc1Pm8
<お問い合わせは>
music@socialvitamin.co.jp まで

別紙 5

新型コロナウイルス感染拡大防止対策等の実施状況

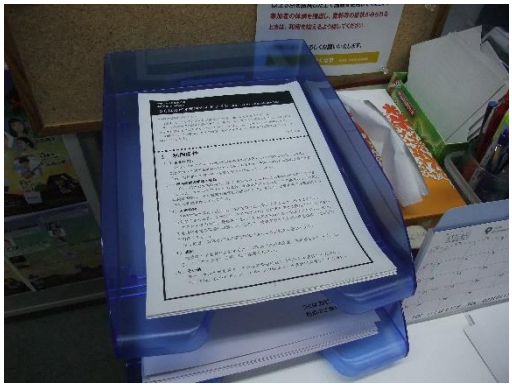
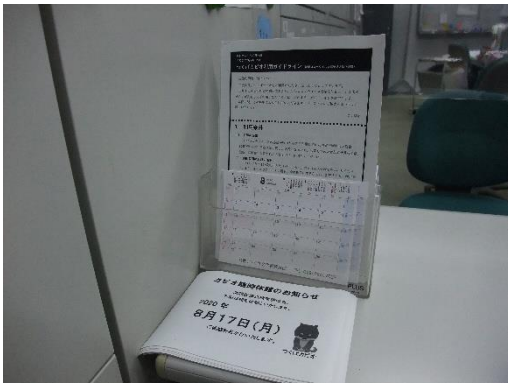
つくばカピオでは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記のとおり対策等を実施した。なお、消耗品等の購入に際しては、昨年度に引き続き文化庁補助金を活用した。

１．新型コロナウイルス感染拡大防止対策の実施

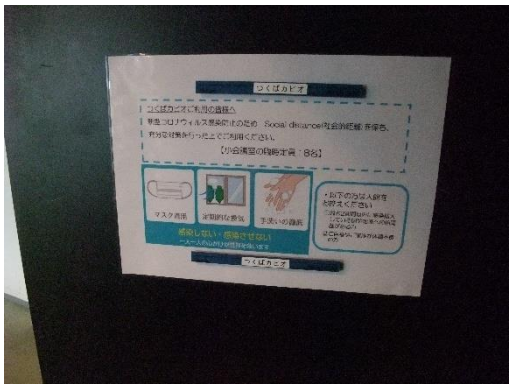
・窓口に飛沫防止ビニールカーテンを設置

・館内の複数個所にアルコール消毒液を設置

・利用ガイドラインの配布（管理事務室）

・エントランスロビーおよび各部屋に感染症対策の案内を掲示



・出入り口にサーマルカメラを設置

・会議室にアクリルボード

・多機能トイレにソープディスペンサー・非接触型決済システム導入

・トイレ前に間隔空けテープ

・受付・物販用ビニールカーテン貸し出し

・アクリルパーテーション貸し出し

・各施設にオゾン除菌消臭器の設置

・館内消毒の実施

利用の状況に応じ館内の消毒を実施した。また、光触媒コーティング完了後は、コーティング未実施個所の消毒を行った。

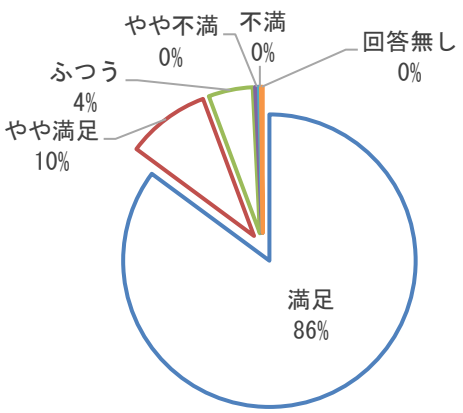
2. 利用内容による感染対策の周知

利用内容に応じて感染対策を的確に実施できるよう、舞台及び楽屋等の利用上の注意事項をとりまとめ周知している。

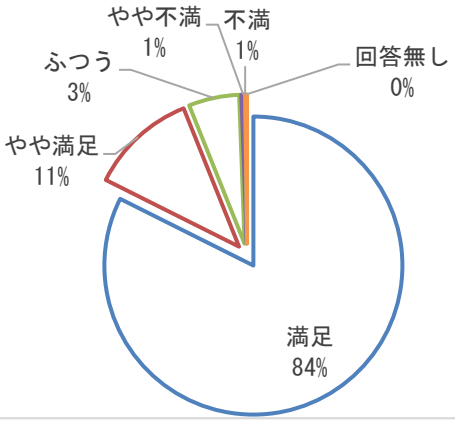
別紙 6

令和４年度　つくばカピオ　アンケート調査結果

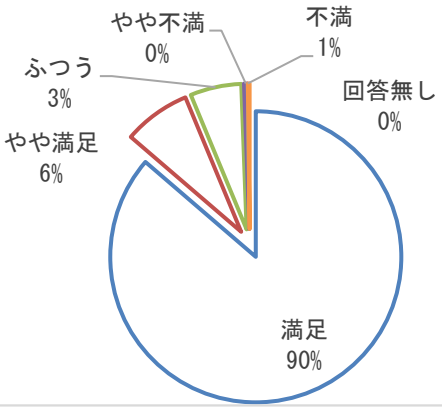
当施設の管理は行き届いていると思いますか。



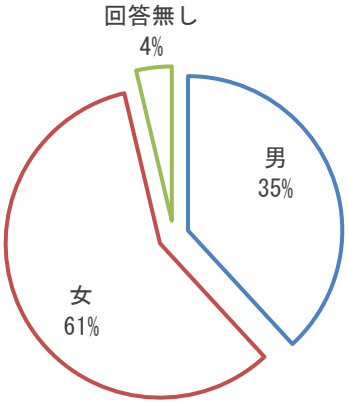
当施設は利用しやすいと思いますか。



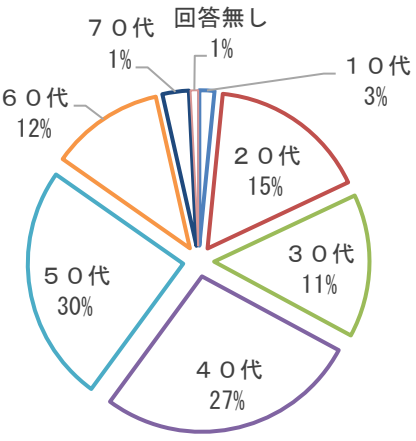
当施設職員の対応はいかがですか。



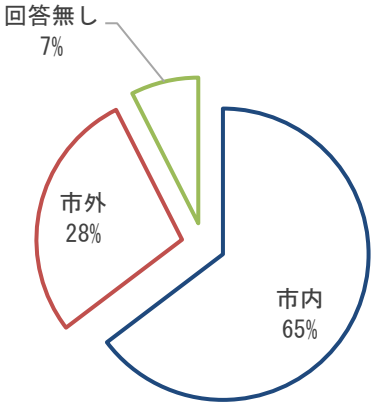
性　　別



年　　代



住　　所



サンプル数 668 件